

## 気候危機対応研究イニシアティブ

委員会の主要意見		主要意見に対する国環研の考え方
現状について の評価・質問など	PG 間の連携に重要な役割を果たす、重要な新しい試みであり、各戦略的研究プログラム間の交流によりシナジー効果が発揮されていることを評価する。テーマ連携は昨年度よりも進んでおり、今後のさらなる発展を期待する。	ご評価いただきありがとうございます。今後も着実に活動を推進します。
	気候変動問題全体に必要な取り組みについて、大局的観点から、国環研がカバーできている分野、手薄な分野などの議論を期待する。IPCC や IPBES 報告書と国環研の対応の検討はそのような俯瞰的な議論のきっかけになるかもしれない。	ご助言頂いたように IPCC や IPBES のアウトラインを用いて、キーワードのマッピングを行って国立環境研究所の研究テーマと比較することを進めます。我々の守備範囲を明確にし、対外的にも示すとともに、手薄な分野への対応について所外との連携を含めて検討します。
今後への期待など	生物多様性保護の観点から再エネ促進区域指定を回避すべき場所を見える化して、開発がされない様になる事を希望します。できれば、法制化まで進むことを期待します。	連携テーマの「生物多様性×再エネ」において自然共生研究 PG メンバーが取り組んでいます。生物多様性保全上重要な場所の見える化は喫緊の課題であり、実用的な情報提供が可能となるよう引き続き研究を進めます。法制度への反映が適切になされるよう、環境省等への積極的な情報提供を行います。
	金融界や行政組織との情報交換や交流も積極的に進め、社会と直に向き合って社会の関心に即した知の創出と発信をしている。金融界との合同ワークショップ、脱炭素つくばなど、経済界や地域とのつながりも進めている。気候変動対応を進めるためのプログラム間連携に加え、気候変動対策により生じうる副作用(環境面、社会面)の検出や対処の検討も期待する。	ありがとうございます。ご期待に沿えるよう取り組みます。対応を進めることによって生じうる副作用につきましてはおっしゃるとおり重要と考えており、シナジーとトレードオフを整理しながら進めていくよう、各プログラムと確認します。
	一般の国民が気候変動の問題を、いかに自分の問題として捉えさせるかが重要なのだと思います。	メディア等とも連携しつつ引き続き社会とのコミュニケーションに努めます。